

お話し玉手箱LIVE

RKKボーイズ&ガールズお話し会

第39回アノンシスト賞
[2013年度]

九州・沖縄ブロック
活動部門
RKK 熊本放送



第1回

2009年3月22日 60人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「葉っぱのフレディ」
レオ・バスカーリア 作
- 「よっぱらったゆうれい」
岩崎京子 作
- 「野菊の墓」(抜粋)
伊藤左千夫 作



第2回

2009年7月19日 70人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「野菊の墓」(抜粋)
伊藤左千夫 作
- 落語絵本「じゅげむ」
川端 誠 作
- 「つみきのいえ」
平田研也 作



新聞でも紹介されました
(熊本日日新聞)

第3回

2009年10月18日 70人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「桜桃」
太宰 治 作
- 熊本のむかし話から
「山ばとショウブ」
- 「丘の上のちいさなレストラン」
石黒之武久 作
ピアノ伴奏：嶽道明俊



第4回

2009年12月19日 70人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「蜜柑」
芥川龍之介 作
- 「蜘蛛の糸」
芥川龍之介 作
- 「クリスマス・キャロル」
チャールズ・ディケンズ 作



第5回

2010年3月7日 70人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「坊っちゃん」(抜粋)
夏目漱石 作
- 「よだかの星」
宮沢賢治 作



第6回

2010年5月2日 80人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「母親というものは」
葉 祥明 作
ピアノ伴奏：嶽道明俊
- 熊本のむかし話から
「ねこ岳のはなし」
- 「杜子春」
芥川龍之介 作



第7回

2010年7月17日 110人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「雪女」
小泉八雲 作
- 「耳なし芳一の話」
小泉八雲 作



第8回

2010年10月24日 50人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「メリーゴーラウンド」
三浦哲郎 作
- 「幸福の王子」
オスカー・ワイルド 作



第9回

2010年12月19日 80人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「モチモチの木」
斉藤隆介 作
- 「命を救った稲むらの火」
小泉八雲 原作・高村忠範 文
- 「ヴィヨンの妻」(抜粋)
太宰 治 作



第13回

2011年10月30日 60人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 熊本のむかし話から
「水車小屋のがわたろう」
- 「こん狐」
新美南吉 作
- 「羅生門」
芥川龍之介 作



第10回

2011年2月13日 70人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 熊本の伝説から
「天女の羽衣」
- 「60歳のラブレター」
ピアノ伴奏：嶽道明俊



第14回

2011年12月24日 70人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 落語絵本「いちがんこく」
川端 誠 作
- 「手袋を買いに」
新美南吉 作
- 「賢者の贈り物」
オー・ヘンリー 作
ピアノ伴奏：嶽道明俊



第11回

2011年4月30日 80人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「字のないはがき」
向田邦子 作
- 「鼻」
芥川龍之介 作
- 熊本の伝説から
「寄姫物語」



第15回

2012年2月11日 85人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 熊本のむかし話から
「ぼんざらや」
- 源氏物語から「桐壺」「夕顔」
瀬戸内寂聴 訳



第12回

2011年7月16日 50人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 「夢十夜」(抜粋)
夏目漱石 作
- 落語絵本「おにのめん」
川端 誠 作
- 「舞踏会」
芥川龍之介 作



第16回

2012年4月28日 90人 朗読：本田史郎・福島絵美

- 落語絵本「おおおかさばき」
川端 誠 作
- 「津波!! 稲むらの火 その後」
高村忠範 作
- 「おなかの赤ちゃんとお話ししようよ」
「子どものころを感じてみようよ」
葉 祥明 作



第17回

2012年7月7日 80人

朗読：本田史郎・福島絵美

- 「たなばたものがたり」
船崎克彦 作
- 「ほしにむすばれて」
谷川俊太郎 作
- 源氏物語から「藤壺」「若紫」
瀬戸内寂聴 訳



第18回

2012年10月28日 65人

朗読：本田史郎・福島絵美

- 「1000の風 1000のチェロ」
いせひでこ 作
- 「最後のひと葉」
オー・ヘンリー 作
千葉茂樹 訳



第19回

2013年6月23日 80人

朗読：本田史郎・福島絵美

- 落語絵本「ばけものつかい」
川端 誠 作
- 熊本の伝説から「たこの足」
- 「トロッコ」
芥川龍之介 作



第20回

2013年9月21日 60人

朗読：本田史郎・福島絵美

- 源氏物語から「六条の御息所」
瀬戸内寂聴 訳
- 「魔術」
芥川龍之介 作



お話し玉手箱LIVE *アンケートより



第2回 (2009年7月19日)

- 子ども向けのお話し会や読み聞かせは各地でよく催されていますが、なかなか大人を対象にした朗読会がなかったので、とても素晴らしかったです。(60代)
- 二人のセリフがとても上手で、話に引き込まれて行きました。すんなりと耳に入って、映像が目の前に広がるように聞き入りました。(20代)

第3回 (2009年10月18日)

- 朗読もピアノもとても素敵で、物語の世界にぐっと引き込まれました。日常生活の慌ただしさを忘れ、ゆったりとした時間を過ごせたことがとても幸せでした。ありがとうございました。(30代)

第4回 (2009年12月19日)

- 目を閉じれば、そのまま情景が目浮かびました。さすがプロのアナウンサー、迫力も満点。映像の世界では味わえない、声の響きが良かったですね。(67歳)



お話し玉手箱LIVEは、熊本市現代美術館の情報誌「ART KISS LETTER」にも掲載され、毎回楽しみにしているお客様もいます。





第1回

2012年10月17日

熊本市立城西小学校

4学年 / 120人

朗読：本田史郎・福島絵美

■「ごんぎつね」

新美南吉 作

■「耳なし芳一の話」

小泉八雲 作



お話し玉手箱LIVE @小学校

[2012年度]



本田史郎
Shiro Honda



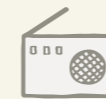
福島絵美
Emi Fukushima



子どもたちの眼が
キラキラ輝いているね！
お礼のお手紙も
たくさんもらったよ！



RKK熊本放送の
マスコットキャラクター
「あるぼ」



RKKラジオ「土曜だ！江越だ！」の中で
朗読「ごんぎつね」「耳なし芳一の話」を放送。

第2回

2012年11月8日

熊本市立龍田小学校

6学年 / 180人

朗読：本田史郎・福島絵美

- 熊本のむかし話から
「水車小屋のがわたろう」
- 「杜子春」
芥川龍之介 作



(5) RKK熊本放送 平成24年11月

民教協読み聞かせ事業

10月17日 城西小学校

11月8日 龍田小学校

この事業は、児童の読書意欲を高め、読書習慣を身につけてもらうことを目的として実施している。今回は、熊本市立龍田小学校の6年生を対象に、熊本市立龍田小学校の先生と、熊本市立龍田小学校の児童が参加した。読み聞かせは、児童の興味を引くように、先生が読み聞かせた。児童は、先生の読み聞かせに真剣に聴き、楽しんでいた。読み聞かせは、児童の読書意欲を高め、読書習慣を身につけてもらうことを目的として実施している。今回は、熊本市立龍田小学校の先生と、熊本市立龍田小学校の児童が参加した。読み聞かせは、児童の興味を引くように、先生が読み聞かせた。児童は、先生の読み聞かせに真剣に聴き、楽しんでいた。

RKK社報(2012年11月)に掲載

物語の世界に
引き込まれていく
子どもたちの眼差しは
真剣だったなあ



RKKラジオ「土曜だ！江越だ！」の中で
朗読「水車小屋のがわたろう」「杜子春」を放送。

第3回

2012年12月19日

熊本市立池田小学校

6学年 / 109人

朗読：本田史郎・福島絵美

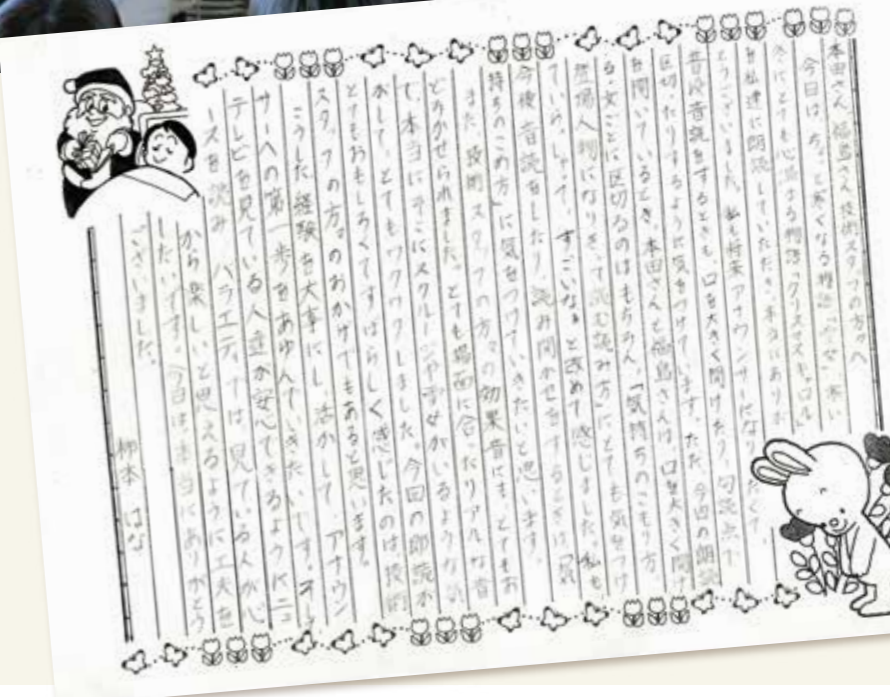
- 「雪女」
小泉八雲 作
- 「クリスマス・キャロル」
チャールズ・ディケンズ 作



アナウンサーになりたい！
勉強になった！と
ステキなメッセージを
寄せてくれてありがとう！



RKKラジオ「土曜だ！江越だ！」の中
で、朗読「雪女」を放送。



第4回

2013年1月16日

菊陽町立武蔵ヶ丘小学校

4学年 / 122人

朗読：本田史郎・福島絵美

- 熊本のむかし話から「ねこ岳のはなし」
- 「手袋を買いに」
新美南吉 作
- 「雪女」
小泉八雲 作



RKK ラジオ「土曜だ！江越だ！」の中で朗読「ねこ岳のはなし」「手袋を買いに」を放送。

第5回

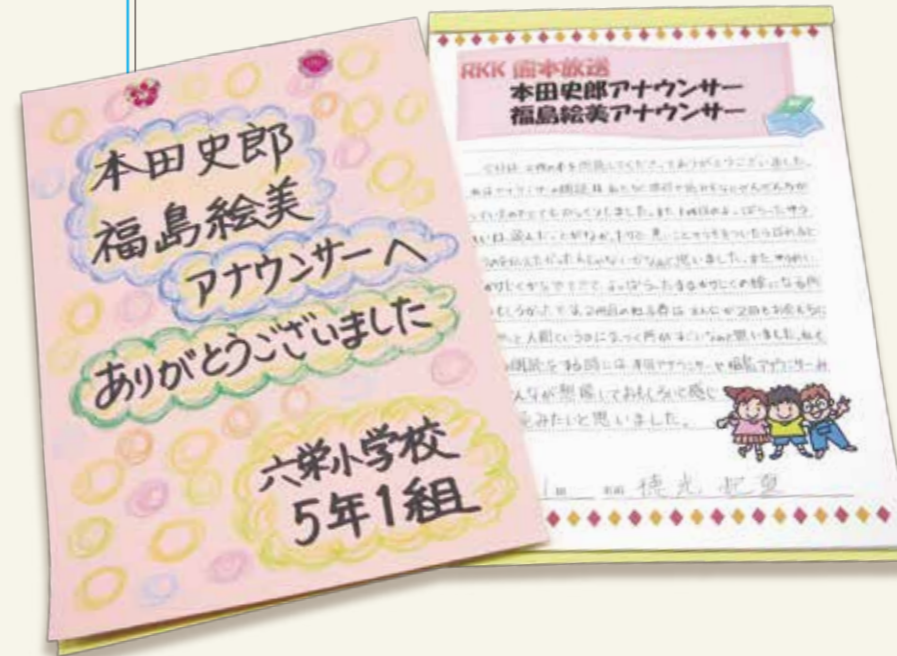
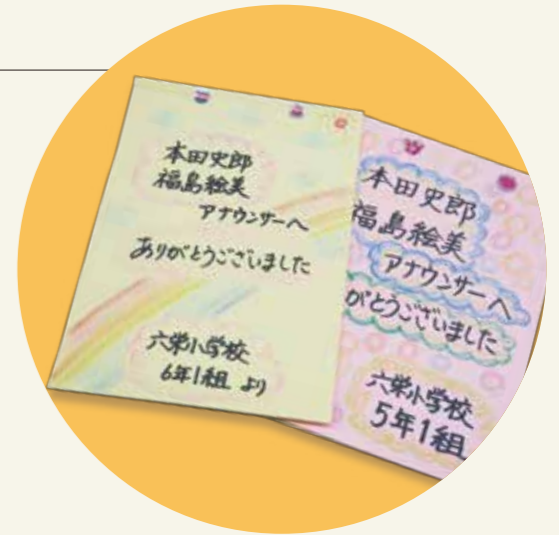
2013年2月20日

長洲町立六栄小学校

5・6学年 / 91人

朗読：本田史郎・福島絵美

- 「よっぱらったゆうれい」
岩崎京子 作
- 「杜子春」
芥川龍之介 作



RKK ラジオ「土曜だ！江越だ！」の中で朗読「よっぱらったゆうれい」を放送。



その時の様子が新聞でも紹介されました(有明新報)



本田史郎
Shiro Honda



福島絵美
Emi Fukushima

RKK ボーイズ&ガールズ お話し会

[2013年度]



第1回

2013年7月18日

熊本市立城西小学校

6学年 / 125人

朗読：福島絵美・木村和也・岡村清香

- 「蜘蛛の糸」
芥川龍之介 作
- 「再起可能」
木村和也 作
- 「気のいい火山弾」
宮沢賢治 作



朗読後行われた職業についての質疑応答で、子どもたちの様々な質問に真剣に答えたアナウンサーたち



アナウンサーって
どうやったらなれるの？
私もアナウンサーに
なりたいなあ…



檜室英子
Eiko Himuro



木村和也
Kazuya Kimura



本田恭子
Kyoko Honda



野溝美子
Miko Nomizo



山崎雄樹
Yuki Yamasaki



吉田明央
Akio Yoshida



柿木綾乃
Ayano Kakinoki



岡村清香
Sayaka Okamura

第2回

2013年9月11日

合志市立合志南小学校

4学年 / 97人

朗読：福島絵美・檜室英子・山崎雄樹

- 「やまなし」
宮沢賢治 作
- 「フットボール・ラブ ～俺たちはサッカーをあきらめない～」
小宮良之 作
- 「どろんこ祭り」
今江よしとも 作



その時の様子が新聞でも紹介されました(熊本日日新聞)



子どもたちの声が届けられました

第3回

2013年10月2日

宇土市立走潟小学校

全学年 / 109人

朗読：本田史郎・柿木綾乃

- 落語絵本「じゅげむ」
川端 誠 作
- 熊本の伝説から「天女の羽衣」
- 「命を救った稲むらの火」
小泉八雲 原作
高村忠範 文



第4回

2013年11月7日

熊本市立尾ノ上小学校

5学年 / 134人

朗読：福島絵美・柿木綾乃

- 「蜘蛛の糸」
芥川龍之介 作
- 「気のいい火山弾」
宮沢賢治 作



キミたちがいつか
誰かに読み聞かせてあげるとき
今日のこの日を
思い出してくれるかなあ



第5回

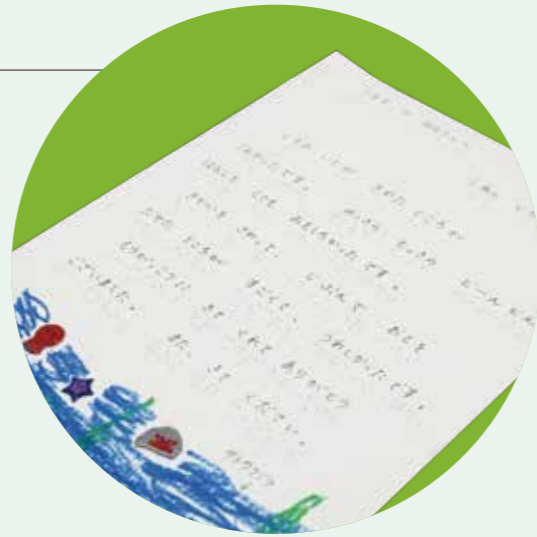
2013年12月6日

熊本県立盲学校

小学部 / 14人

朗読：福島絵美・本田恭子・吉田明央

- 落語絵本「じゅげむ」
川端 誠 作
- 「めっきらもっきらどおんどん」
長谷川摂子 作
- 「蜘蛛の糸」
芥川龍之介 作



点字でお礼のお手紙をいただきました



第6回

2013年12月12日

熊本赤十字病院院内学級

全学年 / 20人

朗読：本田史郎・福島絵美

- 「クリスマス・キャロル」
チャールズ・ディケンズ 作
- 落語絵本「じゅげむ」
川端 誠 作



私たちのところにも
サンタさん来るかなあ…
ジングルベル♪
歌いたくなってくるね!



「RKKボーイズ&ガールズお話し会」の活動が、新聞に掲載されました（熊本日日新聞）



第7回

2014年1月31日

熊本市立白坪小学校

4学年 / 99人

朗読：福島絵美・野溝美子・山崎雄樹

- 「としょかんライオン」
ミシェル・ヌードセン 作、福本友美子 訳
- 「フットボール・ラブ ～俺たちはサッカーをあきらめない～」
小宮良之 作
- 「手袋を買いに」
新美南吉 作



子どもたちからの
あたたかい歓迎で
私たちも楽しかったよ！
ありがとう



■お話し玉手箱LIVE@熊本市現代美術館 [2009～2013年度] 朗読：本田史郎・福島絵美

実施日	来場者	作品
第1回 2009年 3月22日	60人	■「葉っぱのフレディ」レオ・バスカーリア 作 ■「よっぱらったゆうれい」岩崎京子 作 ■「野菊の墓」(抜粋) 伊藤左千夫 作
第2回 7月19日	70人	■「野菊の墓」(抜粋) 伊藤左千夫 作 ■落語絵本「じゅげむ」川端 誠 作 ■「つみきのいえ」平田研也 作
第3回 10月18日	70人	■「桜桃」太宰 治 作 ■熊本のむかし話から「山んぼとショウブ」 ■「丘の上のちいさなレストラン」石黒之武久 作
第4回 12月19日	70人	■「蜜柑」芥川龍之介 作 ■「蜘蛛の糸」芥川龍之介 作 ■「クリスマス・キャロル」チャールズ・ディケンズ 作
第5回 2010年 3月7日	70人	■「坊っちゃん」(抜粋) 夏目漱石 作 ■「よだかの星」宮沢賢治 作
第6回 5月2日	80人	■「母親というものは」葉 祥明 作 ■熊本のむかし話から「ねこ岳のはなし」 ■「杜子春」芥川龍之介 作
第7回 7月17日	110人	■「雪女」小泉八雲 作 ■「耳なし芳一の話」小泉八雲 作
第8回 10月24日	50人	■「メリーゴーラウンド」三浦哲郎 作 ■「幸福の王子」オスカー・ワイルド 作
第9回 12月19日	80人	■「モチモチの木」斉藤隆介 作 ■「命を救った稲むらの火」小泉八雲 原作・高村忠範 文 ■「ヴィヨンの妻」(抜粋) 太宰 治 作
第10回 2011年 2月13日	70人	■熊本の伝説から「天女の羽衣」 ■「60歳のラブレター」
第11回 4月30日	80人	■「字のないはがき」向田邦子 作 ■「鼻」芥川龍之介 作 ■熊本の伝説から「寄姫物語」
第12回 7月16日	50人	■「夢十夜」(抜粋) 夏目漱石 作 ■落語絵本「おにのめん」川端 誠 作 ■「舞踏会」芥川龍之介 作
第13回 10月30日	60人	■熊本のむかし話から「水車小屋のがわたり」 ■「ごん狐」新美南吉 作 ■「羅生門」芥川龍之介 作
第14回 12月24日	70人	■落語絵本「いちがんこく」川端 誠 作 ■「手袋を買いに」新美南吉 作 ■「賢者の贈り物」オー・ヘンリー 作
第15回 2012年 2月11日	85人	■熊本のむかし話から「ぼんさらや」 ■源氏物語から「桐壺」「夕顔」瀬戸内寂聴 訳
第16回 4月28日	90人	■落語絵本「おおおかさばき」川端 誠 作 ■「津波!! 稲むらの火 その後」高村忠範 作 ■「おなかの赤ちゃんとお話ししようよ」「子どものころを感じてみようよ」葉 祥明 作
第17回 7月 7日	80人	■「たなばたものがたり」船橋克彦 作 ■「ほしにむすばれて」谷川俊太郎 作 ■源氏物語から「藤壺」「若紫」瀬戸内寂聴 訳
第18回 10月28日	65人	■「1000の風 1000のチェロ」いせひでこ 作 ■「最後のひと葉」オー・ヘンリー 作
第19回 2013年 6月23日	80人	■落語絵本「ばけものつかい」川端 誠 作 ■熊本の伝説から「たこの足」 ■「トロッコ」芥川龍之介 作
第20回 9月21日	60人	■源氏物語から「六条の御息所」瀬戸内寂聴 訳 ■「魔術」芥川龍之介 作

■お話し玉手箱LIVE@小学校 [2012年度] 朗読：本田史郎・福島絵美

実施日	学校名	参加人数	作品
第1回 2012年 10月17日	熊本市立城西小学校	4学年 / 120人	■「ごんぎつね」新美南吉 作 ■「耳なし芳一の話」小泉八雲 作
第2回 11月 8日	熊本市立龍田小学校	6学年 / 180人	■熊本のむかし話から「水車小屋のがわたり」 ■「杜子春」芥川龍之介 作
第3回 12月19日	熊本市立池田小学校	6学年 / 109人	■「雪女」小泉八雲 作 ■「クリスマス・キャロル」チャールズ・ディケンズ 作
第4回 2013年 1月16日	菊陽町立武蔵ヶ丘小学校	4学年 / 122人	■熊本のむかし話から「ねこ岳のはなし」 ■「手袋を買いに」新美南吉 作 ■「雪女」小泉八雲 作
第5回 2月20日	長洲町立六栄小学校	5・6学年 / 91人	■「よっぱらったゆうれい」岩崎京子 作 ■「杜子春」芥川龍之介 作

■RKKボーイズ&ガールズお話し会 [2013年度]

実施日	学校名	参加人数	朗読	作品
第1回 2013年 7月18日	熊本市立城西小学校	6学年 / 125人	福島絵美・木村和也 岡村清香	■「蜘蛛の糸」芥川龍之介 作 ■「再起可能」木村和也 作 ■「気のいい火山弾」宮沢賢治 作
第2回 9月11日	合志市立合志南小学校	4学年 / 97人	福島絵美・檜室英子 山崎雄樹	■「やまなし」宮沢賢治 作 ■「フットボール・ラブ ～俺たちはサッカーをあきらめない～」小宮良之 作 ■「どろんこ祭り」今江よしもと 作
第3回 10月 2日	宇土市立走湯小学校	全学年 / 109人	本田史郎・柿木綾乃	■落語絵本「じゅげむ」川端 誠 作 ■熊本の伝説から「天女の羽衣」 ■「命を救った稲むらの火」小泉八雲 原作・高村忠範 文
第4回 11月 7日	熊本市立尾ノ上小学校	5学年 / 134人	福島絵美・柿木綾乃	■「蜘蛛の糸」芥川龍之介 作 ■「気のいい火山弾」宮沢賢治 作
第5回 12月 6日	熊本県立盲学校	小学部 / 14人	福島絵美・本田恭子 吉田明央	■落語絵本「じゅげむ」川端 誠 作 ■「めっきらもつきらどおんどん」長谷川摂子 作 ■「蜘蛛の糸」芥川龍之介 作
第6回 12月12日	熊本赤十字病院院内学級	全学年 / 20人	本田史郎・福島絵美	■「クリスマス・キャロル」チャールズ・ディケンズ 作 ■落語絵本「じゅげむ」川端 誠 作
第7回 2014年 1月31日	熊本市立白坪小学校	4学年 / 99人	福島絵美・野溝美子 山崎雄樹	■「としょかんライオン」ミシェル・ヌードセン 作、福本友美子 訳 ■「フットボール・ラブ ～俺たちはサッカーをあきらめない～」小宮良之 作 ■「手袋を買いに」新美南吉 作



おわりに

2009年3月に本田史郎・福島絵美の二人で始めた朗読会も、2013年度は放送部アナウンサー全員で取り組む、社を代表するイベントに育ちました。

朗読を聴いている子どもたちのきらきらと輝く目と豊かな感受性は、私たちアナウンサーに、毎回新たな発見と感動を与えてくれました。さまざまなメディアに囲まれて、バーチャルな世界で育ってきた今の子どもたちは、言葉の持つエネルギーをリアルに体験することが少なくなってきたと感じます。

それだけに、日本語の持つリズムと温かさに直接触れることのできるこのようなイベントは、子どもの情操を育む上で、ますますその重要性を増していくのではないのでしょうか。

RKKでは、2014年度も引き続き県内の小学校を回り、子どもたちと触れ合う機会を設けたいと考えています。そして、これからも美しい日本語を伝え続けていければと願っています。